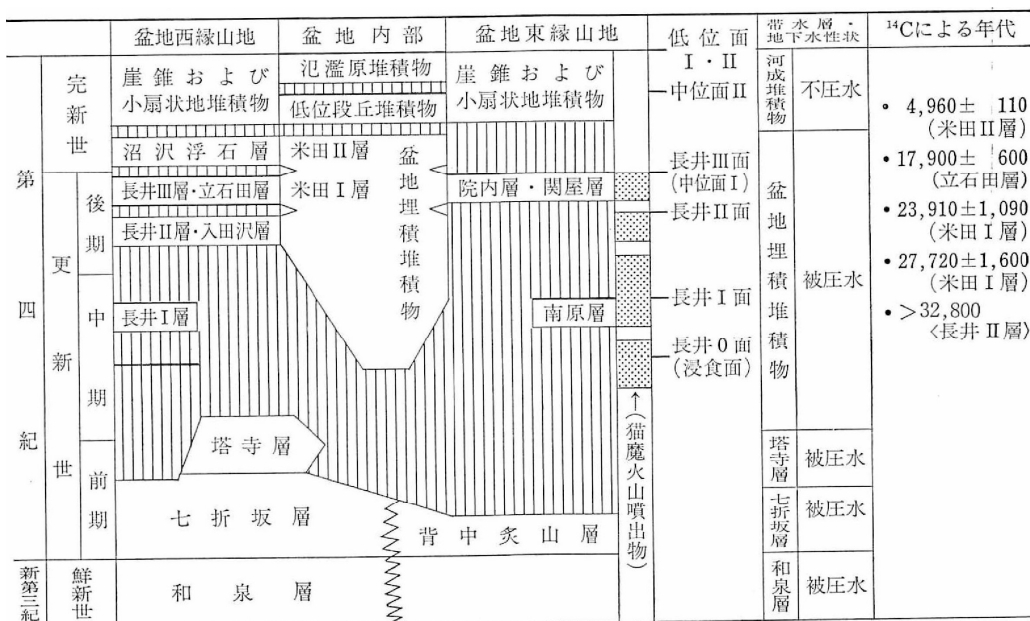




地形・地質

会津盆地は福島県の北西部に位置し、南北約 32km、東西約 12km ほぼ長方形をしています。盆地内は、低位段丘や諸河川をつくる氾濫原が主です。基盤形態は盆状構造で、盆地理積物の下部層（洪積層）は、粘土もしくはシルトと砂礫の互層、上部（沖積層）はほぼ砂礫から構成されています。

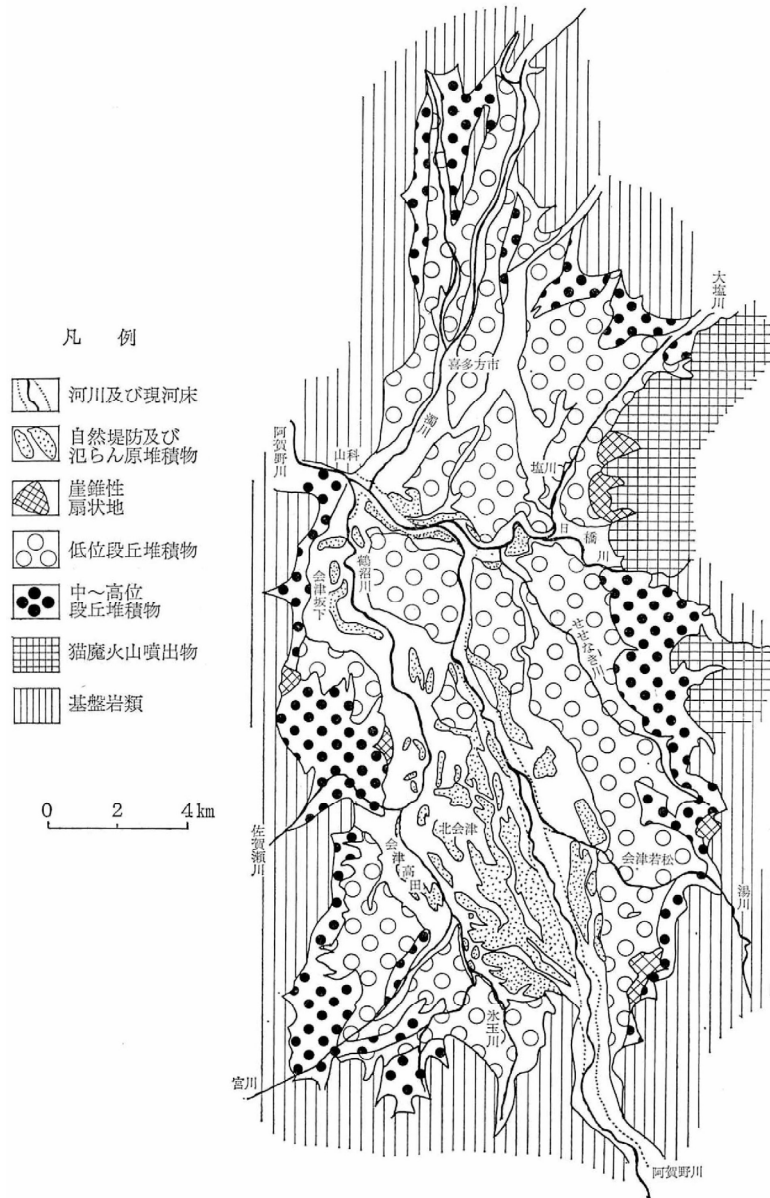
会津盆地および周辺山地における地形面・層序ならびに地下水



(注) 鈴木敬治・真鍋健一・吉田 義 (1977), 鈴木敬治ほか (1967, 1968) に加筆。

地下水

盆地における主要帯水層は、顕著に発達している砂礫層です。佐賀瀬川の古期扇状地(中～高位段丘堆積物)および低位段丘堆積物の分布する一帯、日橋川と大塩川、大川が合流する付近では、自噴井がみられます。



会津盆地の地形・地質概念図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwddb.html>（日本地下水学会）